



あいじつ



開校146周年

「ちがうことが、当たり前」

副校長 福成 利之

6月15～17日に6年生が日光移動教室へ行ってきました。多くの体験をし、自然を感じ、そして鹿や猿とも出会い、疲れた中にもたくさんの笑顔が見られ帰校しました。何より2泊3日に及ぶ集団生活で得たものは大変大きなものがあったはずです。

日光江戸村での班行動、それぞれの係の仕事の準備や取組、各部屋での生活、キャンプファイヤーで踊ったり、ゆっくり線香花火を見つめたりした時間、どれも素晴らしい経験です。その中では、時に周りとの「ちがい」を感じることがあります。それでも、次第に受け止め、それが「当たり前」になっていく中で、楽しさが生まれ、思い出も積み重なりました。子どもたちの「楽しかった!」の一言には、様々な思いや成長が凝縮されています。これは、学校生活の一環として行う移動教室が「旅行」とは大きく「ちがう」点です。

6年生だけでなく、どの学年にも、いろいろな個性をもち、考え方も特性も違う子どもたちが通っています。学校生活の中で、一人一人の「ちがい」を「当たり前」に感じ、その多様性を生かし、認め合うことができる子どもたちになってほしいと思います。そのためには、学級、学校、地域の一員として、一丸となって様々な活動に取り組むことが大切で、その度に、子どもたちはより一層成長していきます。

現在、サッカーW杯が世界で盛り上がっていますが、**7月10日には、愛日小学校の伝統でもある「愛日阿波踊り大会」**が行われ、今年も大いに盛り上がるはずですよ。下記の記事にもある通り6年生を中心に一丸となって準備しています。また、日々の練習や法被の準備は、保護者の方々にご協力いただいています。未来をつくっていく愛日小学校の子どもたちが、地域の伝統を感じながら、一人一人が輝く素敵な姿を見せられたらと考えています。

個人面談について

個人面談担当 山田 優希

今年度も7月と12月の2回、個人面談を設定させていただきました。

7月の個人面談では、1学期のお子さんの学校生活での様子や成長を保護者の皆様とお話しできればと思います。お子さん一人一人の学校や家庭での様子を情報交換できる時間は、大変重要であり、学校と家庭とが協力してお子さんの学校生活を見守っていく上でも有意義であると考えています。

日程につきましては、先日すぐ一斉配信しました「個人面談日時のお知らせ」をご確認ください。短い時間にはなりますが、よろしくお願い致します。

阿波踊りにについて

阿波踊り担当 木之下 諒人

今年も「愛日阿波踊り大会」の季節がやってきました。6年生は、かぐら連の方からご指導いただいたことを下級生に伝えたり、楽器隊が積極的に朝の練習に取り組んだり最上級生として立派に取り組んでいます。

7月より、全校で練習を行い本格始動していきます。伝統行事を引き継いでいくことは大変なことですが、地域と学校を繋ぐ、大切な行事です。当日も暑くなることが想定されます。熱中症等に配慮し、児童全員がやってよかったと思える活動にしていきます。

保護者や地域の皆様には、引き続きご協力いただきますが、どうぞよろしくお願い致します。